2023 年 2 月 3 日
bp
中部電力株式会社

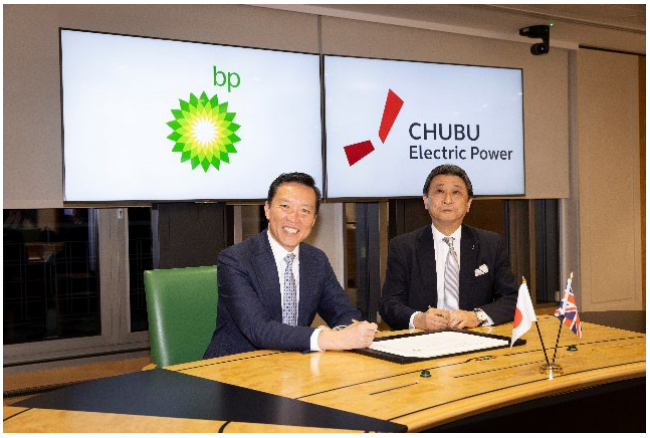
bp と中部電力が日本およびアジア地域の脱炭素化に向けた協力協定を締結

bp および中部電力株式会社（以下「中部電力」）は、昨日、日本およびアジア地域の脱炭素化に向けた協力協定（以下「本協定」）を締結しました。

bp および中部電力グループは、2050 年までに事業全体における CO2 排出量ネット・ゼロにすることを目指しています。
bp は、世界のネット・ゼロに向け、CO2 排出量が多い主要な産業分野の事業者との協働に重点を置き、脱炭素化を支援しています。
また、中部電力グループは、発電・送配電分野において、お届けする電気の脱炭素化に取り組むとともに、販売分野においては、社会やお客さまと電化・脱炭素化の促進に取り組んでいます。

両社は、本協定に基づき、bp の大規模 CCS プロジェクトの開発経験と、中部電力の中部エリアにおけるエネルギー事業者としての知見を組み合わせ、まずは、名古屋港周辺の脱炭素化支援に取り組みます。
名古屋港は、貨物取扱量が日本最大の港で、日本の CO2 総排出量の 3%を占めており、2030 年までに 2013 年度比で 35%削減する目標を掲げています。
その目標実現に貢献すべく、両社は、CCUS の実現に向けた、CO2 の回収・集約、その有効活用および海外の CO2 貯留地への輸送に関する調査を行います。

また、両社はアジア地域において、再生可能エネルギーに関するさまざまな技術を活用した脱炭素ソリューションの促進に向けて検討を進めてまいります。



左：bp William Lin エグゼクティブ・バイス・プレジデント RC&S
右：中部電力 佐藤裕紀 専務執行役員 グローバル事業本部長